

2023 年度「卒業生調査」の実施について

下記の目的で、卒業生調査を実施します。

2022 年度は、卒業後 1・5・10・20 年目の卒業生合わせて 1176 名を対象に実施、回答数は 53 件で回収率は 4.5%でした。

1. 目的

- ①卒業生が社会人基礎力の中で特に必要と思っている項目を把握する。
- ②卒業生を「10・20 年目」と「1・5 年目」に分け、前者には経験を踏まえた意見等を、後者には大学での教育等に関する質問を中心に意見等を聞く。
- ③教学マネジメントの基礎データとする。

※令和 4 年度 教育の質に係る客観的指標「⑩ 卒業生のキャリア（就職・進学等）の状況の把握と教育活動等の改善」（2022 年度の場合）に対応するものです。

2. 調査対象／ 1190 名（該当年度の住所判明者のみ抽出。総卒業生数は 1377 名）

（1 年目 398 名、5 年目 349 名、10 年目 286 名、20 年目 157 名）

3. 依頼方法

- (1) ホームカミングデーの案内同封
- (2) 個人アドレス登録者には、回答 HP のアドレスを送付

4. 回答方法

- (1) 回答用紙の返送
- (2) Web による回答（大学 HP から）

5. スケジュール

時 期	内 容
2023年 4月26日(水)～ 6月28日(水)	就職支援協議会にて検討
7月11日(火)	大学部長会
9月 4日(月)	公文書送付 昨年度結果送付
10月31日(火)	回答締め切り
11月22日(水)	就職支援協議会 結果報告 分析開始
2024年 1月24日(水)	就職支援協議会 分析報告
2月13日(火)	大学部長会 結果報告
2月21日(水)	教授会 結果報告

※検討結果によっては、9 月 12 日部長会後に公文書送付とします。

6. 昨年度からの変更について

特になし

以上

2023 年度聖隷クリストファー大学卒業生調査集計結果（分析）

卒業後 1 年目・5 年目

<自分が今有していると思う能力について>

○基礎的な能力（「有している」・「やや有している」と回答した上位回答項目）

【卒業後 1 年目】

1 位：社会のルールや人との約束を守る力、2 位：相手の意見を丁寧に聞く力、3 位：物事に進んで取り組む力

【卒業後 5 年目】

1 位：社会のルールや人との約束を守る力、2 位：相手の意見を丁寧に聞く力、3 位（同列）：意見の違いや立場の違いを理解する力、自分と周囲の人々と物事との関係性を理解する力

○本学が卒業時に専門職者として求める能力（「有している」・「やや有している」と回答した上位回答項目）

【卒業後 1 年目】

1 位：多職種と連携・協働することができる、2 位（同列）：様々な価値観を尊重した対人関係力と論理的表現力を身につけている、社会のニーズを捉え専門職として自己研鑽することができる

【卒業後 5 年目】

1 位（同列）：建学の精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身に付けている、様々な価値観を尊重した対人関係力と論理的表現力を身につけている、多職種と連携・協働することができる

<社会人基礎力を身につけるための必要年数>

（1 年目+5 年目）5 年：10 名 3 年：7 名

<在学中の学びで有益であったと感じているもの>

（1 年目+5 年目）1 位（同列）：専門領域の授業、実習、3 位：基礎・関連領域の授業

<全体から>

卒業後 1 年目における社会人基礎力については、「どちらとも言えない」「あまり有していない」「有していない」に回答する者の割合が多いが、5 年目になると、8 割以上がほぼ全ての力を「有している」「やや有している」と回答していることから、本学卒業生の順調な成長の様子を垣間見ることができる。こうした力を身につけるために必要な年数に関しては、例年通り 3～5 年を要すると認識している割合が高く、1 年では十分な能力が形成されないとの結果となった。役立った授業科目として「実習」と回答する者の割合が連年通り高い。自由記述において、コロナのために実習で十分な体験ができなかったが、事例検討をするなかで他の学生の意見を聞いたことが、理解を深めてくれた等の意見があった。

卒業後 10 年目・20 年目

<新人（後輩）職員について>

○新人職員に求める能力について（「求める」・「やや求める」と回答した上位回答項目）

【卒業後 10 年目】

1 位（同列）：物事に進んで取り組む力、相手の意見を丁寧に聞く力、意見の違いや立場の違いを理解する力、社会のルールや人との約束を守る力

【卒業後 20 年目】（「求める」と回答した上位回答項目）

1 位（同列）：物事に進んで取り組む力、相手の意見を丁寧に聞く力、社会のルールや人との約束を守る力

<社会人基礎力を身につけるための必要年数>

（10 年目+20 年目）3 年：9 名 5 年：6 名

<全体から>

卒業後 10 年目・20 年目が新人職員に求める能力について、「相手の意見を丁寧に聴く力」「意見の違いや立場の違いを理解する力」「社会のルールや人との約束を守る力」が上位に挙げられている。これが卒業後 1 年目の回答と一致していることから、本学の卒業生が中堅職員の要望に応えることができているという可能性が示唆されている。その一方で、自由記述では、自分で考えたり責任をとることなどを考える力が弱くなっているとの回答もあり、本学の学部教育の課題の一つとして、「主体性の涵養」を今後検討する必要性があるかもしれない。